

# SHINKA 2019を実現する新しいビジネスプラットフォーム 「Workplace Hub」始動！

Foreword: Workplace Hub, the New Platform Realizing Medium-Term Business Plan SHINKA 2019



コニカミノルタ株式会社  
常務執行役

仲川 幾夫

Ikuo NAKAGAWA  
Senior Executive Officer KONICA MINOLTA, INC.

デジタル技術の進展があらゆる産業で変革を引き起こし、社会環境や競争環境が変わるスピードも加速して来ています。コニカミノルタは社会的な課題やお客様の潜在的課題をも先取りして共に解を生み出し、ビジネス社会・人間社会の進化を支える「課題提起型デジタルカンパニー」として、その変革をリードする企業になることを当社の中期経営計画である「SHINKA 2019」の中で目指しています。前中期経営計画「TRANSFORM 2016」からソリューション型のビジネスモデルへの業容転換を進め、欧米での42社のITサービス会社の買収を通じてITサービスが出来る人財と新しいビジネスモデルの獲得を行うことで、プリンティングサービスとITサービスによるハイブリッド販売体制を確立してきました。それにより積み上げてきたサービス提供力を、さらに一段上のステージへ高めるために期待できるのが、Workplace Hub (WPH) 事業です。WPH事業は、「SHINKA 2019」で掲げた「課題提起型デジタルカンパニー」への変革のため、「Connected Office」のプラットフォームとして、中小企業及び特定業種でのジャンルトップを目指しています。

コニカミノルタには中小企業を中心とする200万社の顧客基盤があり、なかでもMFP及びITサービスの販売は直販体制でお客様の持つ潜在的な課題についてもお客様に寄り添って解決を図り、多くのお客様の信頼を得ているという強みがあります。再販チャネルを中心としたIT系の競合会社やプリンティングとITサービスを分離した競合会社には、お客様を最初から最後までフォローできるような仕組みをなかなか真似することは出来ないと考えています。こうしたお客様に提供するサービスのEnd to Endのプロセスをカスタマージャーニーと呼び、様々な顧客接点を通じた顧客体験を大事にして行くことでお客様に生涯にわたる価値の提供を目指しています。

WPHのお客様から見た価値としては、クラウドだけでなくエッジサーバでもデータを蓄えることで、データの出し入れにかかる時間やコストが削減できます。また2018年5月、欧州でGDPR (EU一般データ保護規則) が施行され、セキュリティ面からもデータをクラウドでなく自社サーバに持つておきたいというニーズが高まっています。WPHではアプリケーションをダウンロードできる「マーケットプレイス」を提供し、お客様のエコシステムとしてお使い頂くことで、お客様のニーズに従い、お客様の生産性や創造性を向上させる様な付加価値を提供します。Hewlett Packard Enterprise社、マイクロソフト社をはじめとしたIT企業は競合ではなく、商材を提供していただくパートナーでもあり、これらの大手IT企業も、中小企業を中心とした当社の顧客基盤にアプローチする手段として、WPHに期待を寄せています。

WPHの構想はもともとは欧州のBusiness Innovation Center (BIC) から生まれましたが、事業運営については、事業企画は日本、製品開発はチェコと日本、事業開発は米国中心と言った様にグローバルな体制で取り組んでいます。開発においても、迅速かつ適応的に開発を行うアジャイル開発手法を採用し、お客様の反応を見ながらフィードバックをかけて仕様を上げて行く様な先進的な取り組みを行っています。WPHの製品及びサービスを支えるバックエンドについても、開発部門とIT部門がグローバルな取り組みを行い、自動化された遠隔サポートが可能となるグローバルで標準化されたシステムの構築を行っているところです。

既に欧米の先行国での販売が始まっていますが、中小の製造業・流通・弁護士事務所・会計事務所などに想定通りの販売が出来始めています。また、WPHを社内の働き方改革実践、デジタルマニュファクチャリング、ケアサポートソリューション®、状態監視やヘルスケアITなども含めたOne Konica Minoltaのあらゆる事業の共通IoTプラットフォームとして活用していく検討も始めています。

今後、パートナー会社や社内の事業部とも連携しながら、WPHを通じて従来以上にお客様の現場により深く入り込み、社会課題及びお客様の抱える経営課題を解決し、SHINKA 2019でコニカミノルタが目指す姿を実現していくことに貢献できればと考えています。